



株式会社ロココ 証券コード：5868

2024年12月期 第3四半期  
決算補足説明資料

---

2024年11月

# 2024年12月期第3四半期（累計）サマリー

## 24年12月期 第3四半期業績

### 売上高はほぼ予想通り、利益は改善

- 売上は引き続きServiceNowが牽引
- 既存顧客との契約更改により収益は改善
- 人材配置の見直しにより生産性向上

## 24年12月期 通期業績予想

### 売上高、利益ともに予想通りの着地見込み

- ServiceNow事業は安定的に成長
- 既存取引先の契約更改による収益性の改善を継続
- 受注案件を着実に売上に繋げていく

## 株主還元

期末配当一株につき20円（年間配当金合計20円）に変更はなし

# 2024年12月期第3四半期（累計）業績サマリー

- 通期予測に対して売上高74.1%、営業利益67.1%の進捗
- 売上原価は前期比+9.8%となるも、中間期65.7%に比べ▲1.4ptとなり収益性が改善
- 四半期純利益率は中間期0.3%から2.7%と+2.4pt大きく伸長

	23.12期3Q 累計		24.12期3Q 累計		前年 同期比	通期予測 進捗率	
	金額	構成比	金額	構成比			
(単位：百万円)							
売上高	5,325	—	5,710	—	+7.2%	7,711	74.1%
売上原価	3,341	62.7%	3,669	64.3%	+9.8%	—	—
売上総利益	1,984	37.3%	2,040	35.7%	+2.8%	—	—
販売費及び 一般管理費	1,590	29.9%	1,805	31.6%	+13.5%	—	—
営業利益	394	7.4%	235	4.1%	▲40.2%	350	67.1%
経常利益	376	7.1%	251	4.4%	▲33.2%	360	69.7%
四半期純利益	250	4.7%	156	2.7%	▲37.5%	231	67.5%

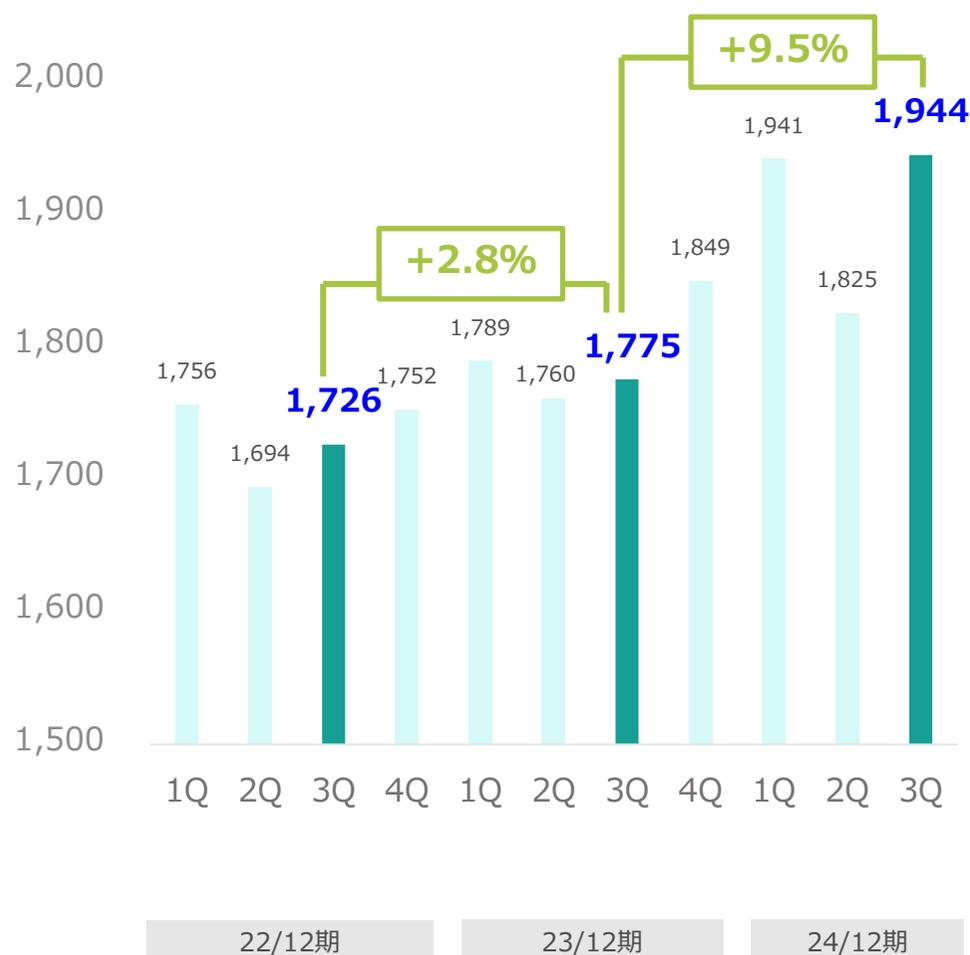
## 原価・販管費増の要因

- 原価率**  
前年同期比 1.6ptUP
- ・ 非稼働要員の発生
  - ・ 人材投資による労務費の増加
- 販管费率**  
前年同期比 1.7ptUP
- ・ 上場関連費用、内部統制強化費用、及び外形標準課税の適用に伴う租税公課増加
  - ・ 顧客との関係強化費用発生

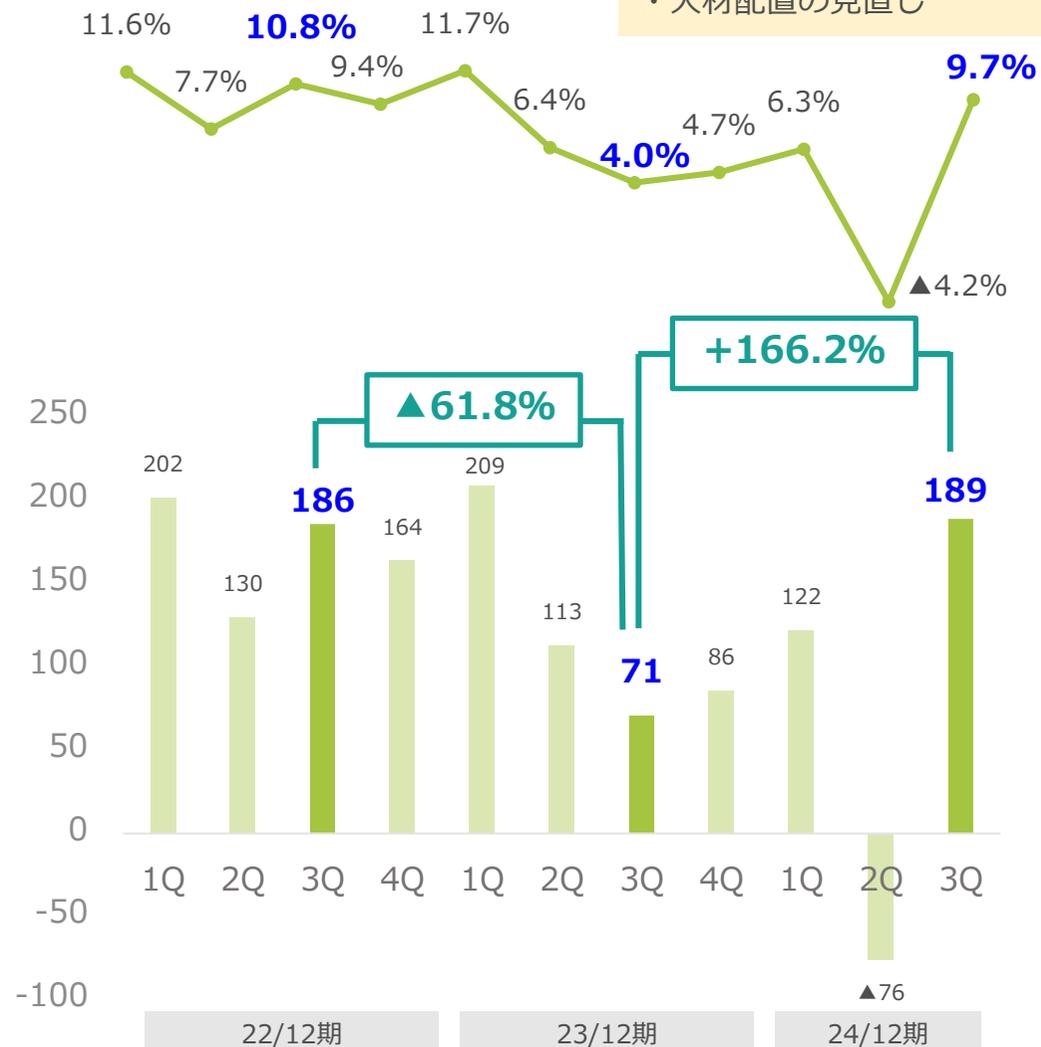
# 四半期売上高・営業利益推移

## ■ 四半期対比で売上は順調に推移、利益は大幅改善

### ■ 四半期売上高推移



### ■ 四半期営業利益・営業利益率推移



### 前四半期との差異要因

- ・ ServiceNow事業の伸長
- ・ 顧客との契約更改
- ・ 新規顧客の獲得
- ・ 人材配置の見直し

# 《セグメント別 業績》

		2023.3Q累計	2024.3Q累計	前年同期比
ITO&BPO	売上高	3,521百万	3,762百万	+6.8%
	営業利益	263百万	144百万	▲45.3%
クラウドソリューション	売上高	1,702百万	1,838百万	+8.0%
	営業利益	113百万	81百万	▲28.8%

※2024年7月よりソリューション事業は ITO&BPO事業に移管しており、組替後の比較となっております。

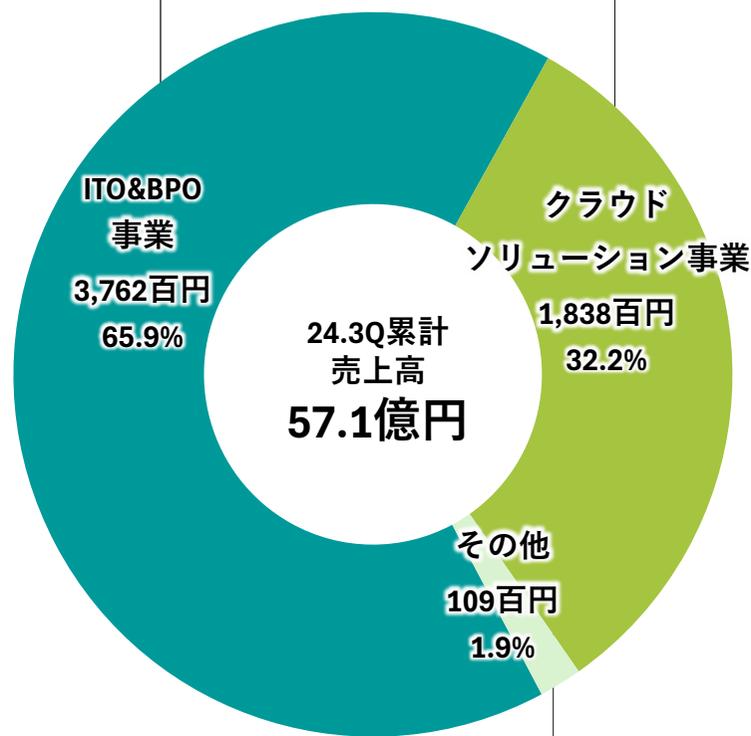
## ITO&BPO事業

4つのアウトソーシングサービス

- ITサービスマネジメント事業**  
IT人材の常駐によるアウトソース
- カスタマーコミュニケーション事業**  
コールセンター・BPOサービス
- イベントサービス事業**  
ライブチケットの配席管理等
- ソリューション事業**  
自社製品の顔認証システム「AUTH(オース)シリーズ」

### Topics

- ・クロスセルによる新規獲得
- ・契約更改による収益性改善
- ・美術館等へのソリューション提供



## クラウドソリューション事業

3つのクラウドサービス

- ServiceNow事業**  
プラットフォームシステムの導入支援・運用保守
- HRソリューション事業**  
自社製品の勤怠管理システム「RocoTime (ロコタイム)」の開発・販売
- システムソリューション事業**  
アプリケーションの受託開発・運用保守

### Topics

- ・ServiceNowは堅調に成長
- ・人材最適配置により生産性の向上
- ・契約更改による収益性改善

海外事業

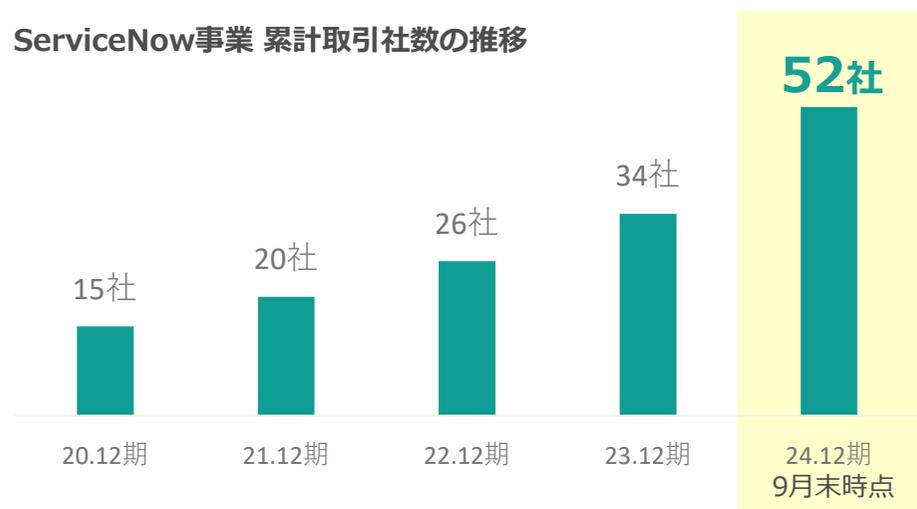
システム開発



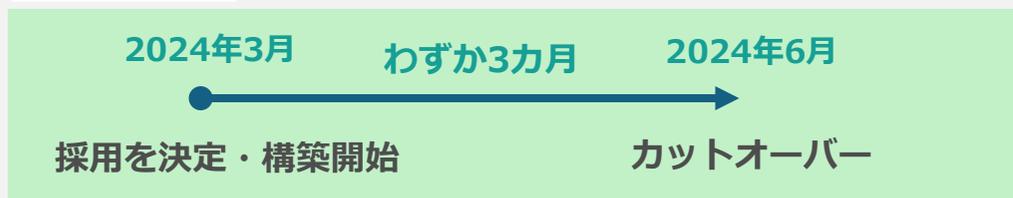
# Topics ServiceNow事業の成長性 (2024.9.17)

## ■ServiceNow事業が継続的かつ安定的に成長

ServiceNow事業 累計取引社数の推移



### 導入事例 L社のITガバナンス構築を短期間で実現



#### L社の計画

【第1フェーズ】  
全体的なワークフロー基盤  
の刷新ロードマップ

↑今回第1フェーズ対応

#### 【第2フェーズ】

2025年以降にヘルプデスク体制の改善・強化

#### 【第3フェーズ】

資産管理の自動化とインフラ運用の高度化

### ServiceNow導入理由

- ・複数のツールや紙媒体で運用される社内のシステム環境を単一のワークフロー基盤で実現可能、実績も国内外で豊富
- ・ITSM以外にもユーザー本位のSaaS型デジタルワークフロー製品があり、ビジネス環境の変化に合わせてDX環境の高度化が期待できる

### ロココが選ばれた理由

- ・ServiceNowから「Elite」に認定されており、導入支援やコンサルティングサービスなど高い評価と実績がある
- ・日本企業向けITSMテンプレートをもち、**短期間・低コスト**でServiceNowが導入可能

ServiceNowについては是非当社[Webサイト](https://www.rococo.co.jp/solution/servicenow/)をご覧ください。  
URL : <https://www.rococo.co.jp/solution/servicenow/>

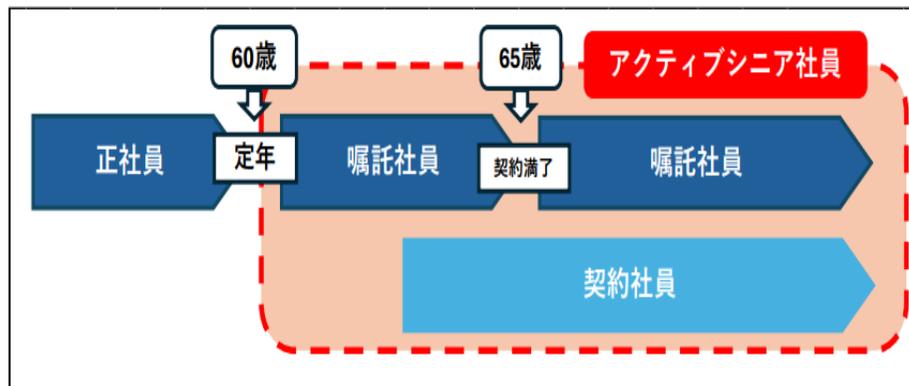


## ■シニア人材が目標と達成意欲をもって活躍できる場の提供

定年(60歳) 再雇用の社員及び60歳を超えて採用した社員

# || アクティブシニア社員

<雇用イメージ>



### 期待される効果

- これまでの経験、スキル等を十分発揮し業績へ貢献
- 培ったスキルやノウハウを次の世代に継承
- 目標設定と達成意欲をもって高いモチベーションで活躍
- 会社の期待とアクティブシニア社員の労働意欲をマッチング

---

# Appendix

---

# 会社概要

社名	株式会社ロココ (Rococo Co. Ltd.)
本社	大阪本社：大阪府大阪市中央区西心斎橋2-1-5 日本生命御堂筋八幡町ビル3F 東京本社：東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル3F/4F
代表者	代表取締役社長 長谷川一彦
設立	1994年6月
資本金	642百万円*2
グループ会社 (連結子会社)	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 寧波樂科科信息技術有限公司 (中華人民共和国寧波市)</li><li>■ Rococo Global Technologies Corporation (フィリピン共和国マカティ市)</li><li>■ Rococo Global Solutions Corporation (フィリピン共和国マカティ市) (清算手続中)</li></ul>
従業員数	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 連結： 710名*1</li><li>■ 単体： 631名*1</li><li>■ 男女比率*2 男性 62%：女性 38%</li><li>■ 外国籍比率*2 日本国籍 86%：外国籍 14%</li></ul>
認証取得	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2006年12月 プライバシーマーク 取得</li><li>■ 2009年3月 ISO27001 取得 (JQA-IM1551)</li><li>■ 2010年3月 ISO9001 取得 (JQA-QMA15879)</li></ul>

\*1 臨時雇用者数 (最近1年間の平均雇用人数) を含む2024年6月30日時点の従業員数 \*2 2024年6月30日時点



# グループ・拠点

寧波樂科科信息技術有限公司

福岡営業所

東京本社  
東京支社

大阪本社  
グローバルテクニカルセンター

Rococo Global Technologies Corporation

## 免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製。転送等を行わないようお願いいたします。

